

南あわじ市 平成 22 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(負担金用)

I 基本事項

		整理番号	1035
事業名	南あわじ市・洲本市小中学校組合事業 負担金	予 算 科 目	会計 一般会計・1
担当部課名	教育部 教育総務課		款 教育費・10款
電 話	0799 - 37 - 3017		項 教育総務費・1項
該当する項目について「 」を選択		目 小中学校組合費・4目	
		団体負担金	事業負担金

II Plan&Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

事業の概要	事業目的	(団体の設立趣旨、活動目標など) 小中学校組合は、関係2市(南あわじ市・洲本市)に係る組合立広田小学校及び広田中学校の設置並びにこれに関する教育事務の管理運営に係る経費の負担。	
	負担金の概要	経費を市が負担する理由(加盟理由、法令、又は市がすべきどのような事業を代わって実施しているのか) 小学校、中学校、給食センターの管理運営業務を行っており、平成17年1月11日に三原郡4町が合併となり、構成市が南あわじ市と洲本市になった 下記区域の関係市2市により経費を負担している。 南あわじ市のうち中条中筋、中条広田、中条徳原、広田広田、広田中筋、山添の区域 洲本市のうち納、鮎屋の区域	
	負担金算出方法(負担金全体の算出方法とそのうち本市の負担割合の決定方法)	市の負担割合	91.1%
事業の決算の概要			平成20年度
	事業経費 (千円)	288,784	
	人件費	35,498	
	物件費	41,085	
	維持補修費、扶助費、補助費	32,660	
	投資的経費	7,278	
	公債費	172,263	
	事業の財源内訳 (千円)	292,080	
	事業主体の自主財源		
	負担金	176,551	
(上記負担金のうち本市の負担額)	160,901		
その他(負担金以外の国県補助金等)	115,529		
歳入のうち負担金の割合	60.4%		
負担金のうち本市の負担割合	91.1%		
事業に関する補足説明	(別途、当該団体・事業の規約又は会則等、平成20年度決算書、平成20年度事業報告書を添付すること。= 決算書・事業報告書が作成されていない場合は、予算書・事業計画書でも可)		
	過去に事業費削減があった場合、その経緯	公的資金補償金繰り上げ償還に係る財政健全化計画を策定し、平成20年度から平成24年度までの間、事業削減	

Ⅲ Check (事業の自己評価・一次評価)

費用対効果	(費用対効果の分析、問題点・課題などを記入。) 南あわじ市・洲本市小中学校組合実質公債比率が18.7% (平成19年度)であったため、 年利5%以上の地方債を対象に総額139,306千円の繰上償還を平成20年度から平成21年度に かけ実施、財政の健全化を図っている。 これにより約20,000千円の経費の削減がおこなわれ、市の負担金の減にもつながってい る。			自己評価 (5点評価)					
				4					
必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低								
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 広田小中学校は、2市で構成された組合立の学校であります、南あわじ市内の学校で あり、市内各学校と同様な運営を行っていく必要がある。			自己評価 (5点評価)					
総合評価				5					
	自己評価をふまえた現状分析 今後の運営方法については合理的に運営されることが望まれるが、関係市と洲本市との協議 が必要になり、2市の政治的な背景があるため、事務的には動くことが出来ない。	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"><p style="text-align: center;">評価グラフ</p><table border="1"><caption>評価グラフ</caption><thead><tr><th>項目</th><th>評価</th></tr></thead><tbody><tr><td>費用対効果</td><td>4</td></tr><tr><td>必要性</td><td>5</td></tr></tbody></table></div>			項目	評価	費用対効果	4	必要性
項目	評価								
費用対効果	4								
必要性	5								

IV Action&Plan (改善・改革の内容及び次年度以降の計画)

	平成23年度にできる改善・改革	平成24年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減
	<p>財政の健全化を図るため、平成20年度～24年度まで財政健全化計画を作成し、それに基づき平成24年度まで大きな事業は、出来ないので現状維持を続ける必要がある。</p>	<p>同左。</p>
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果 (現状維持以外の場合)		
(現状維持の場合も記入) 廃止の影響	<p>仮に補助金、交付金を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)</p> <p>小学校、中学校、給食センターの管理運営業務を行っており、平成17年1月11日に三原郡4町が合併となり、構成市が南あわじ市と洲本市になり、現在2市により経費を負担している。分担金がなくなれば、学校経営が成り立たず小中学校組合を解散し、それぞれの市に編入することが考えられるが、今後、関係市で十分な協議、検討していかなければならない。</p>	